



Subaru

ニュース742

'20.9.10

男声合唱団

「昴」第20回総会后「9月レッスン」始まる コロナ禍を体験して新たな合唱団「昴」を 模索しよう！

9月4日



□「昴」は8月30日(日)「コロナ禍を体験して、新たな合唱団「昴」を模索しよう！」のテーマのもと、第20回総会を開催し、新たな方針と計画を決め、うたごえを、レッスンを続けて行こうと決めました。

□9月4日(金) 18:00~20:30 A班メンバー中心のレッスンが開催されました。奥村さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、「13回コンサート第1部曲」全曲を通して歌うことに集中しました。休憩時間を十分取って、部屋の風通しを図ること、7月から再開したレッスン曲の出来具合の確認を行うことになりました。

□最初の休憩を兼ねて、冒頭、千秋さんより、千秋作詞・森二三さん作曲の**新曲「空を見る」**の歌唱指導を受けました。

本並先生の指揮で、オープニング曲「日々草」:2019年京都祭典の合唱発表曲(銅賞受賞)のレッスンに入りました。つぎに、フォスターの名曲「草競馬」「懐かしのケンタッキーの我が家」:今年に入って、コロナウイルスの感染拡大状況で休止する3月までのレッスンで、最も力を入れて声合わせをしたと言える曲、そして7月再開レッスンからも、ようやく音が合ってきた2曲として毎回歌ってきた曲。

ここで、休憩を入れ、部屋の風通しを行いました。

引き続き、ロシア民謡「白樺」「道」「母なるヴォルガを下りて」の3曲を続けて歌いました。

昴の「持ち歌」ともいえるロシア民謡で、幾度となくレッスンしてきた曲。コンサートや合唱発表会でも歌い、受

賞経験の多い曲。今日は、それぞれの曲の、歌う上での注意点を指揮者と確認し、声を合わせていきました。



再度の休憩の後、伊藤副指揮者の指揮で、「U Boj!」と「歓びのナーダム」のレッスンを行いました。

「U Boj!」では、最初の2小節「ウ ボイ ウ ボイ マーツチズトーカーブラーチョ」の8小節から始まって13小節まで、14小節から40小節まで、41小節から最後の52小節まで、と高音部と低音部それぞれ細部に亘る発声の確認をする合唱練習となりました。

久しぶりに1部全曲を歌い通した充実感を味わうことができ、また緊張の連続で疲れを覚えるレッスンともなりました。

□連絡事項

(1) 合唱用マスクの注文について（東京混声合唱団企画の「歌えるマスク」）（川妻）

先日のレッスン時にすでに一部の方に配布し注文もとりましたが、団員全員に知っていただいた方がよいと考え、昂ニュースに記載させていただきます。

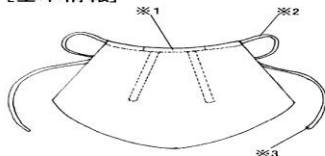
使用してみると、口にまとわりつかず、息もこもらず、歌いやすく感じています。

希望される方は20日(日)のレッスン時締め切りで、川妻までお知らせ下さい。

- 一枚1,430円税込み、納期は10月
- レッスン欠席等の場合は電話下さい。(090-3712-5936 川妻)
- 詳しくはパソコンで<パナムジカ>を検索、お急ぎの方は直接注文して下さい。(送料がかかります)

東混製「歌えるマスク」取扱説明書

【基本情報】

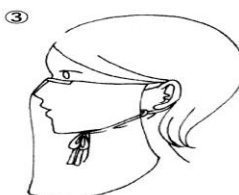
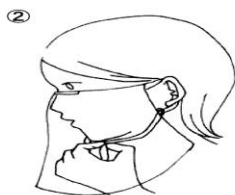


- ◎部品
 - ※1 ノーズワイヤー
 - ※2 耳掛け部分
 - ※3 あご下で結ぶ部分
- ◎素材
 - 表地: ポリエステル65%・綿35%
 - 裏地: 綿100%
 - (顔に触れる面、薄い生地が裏地です)
- ◎洗濯について
 - ワイヤーや生地の劣化を防ぐため、手洗いを推奨します。洗濯機などを利用した場合、生地が擦れてワイヤーが飛び出るおそれがあります。
- ◎その他注意事項
 - 本品は歌唱用として開発されたものであり、感染を100%防ぐものではありません。各地・各施設で定められたガイドラインを守り、十分な感染対策を行った上での使用をお願いします。

【着用方法】

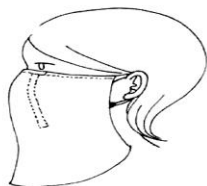


左図のように、あらかじめノーズワイヤーは顔にフィットしやすい様に曲げておき、耳掛け部分の輪っかはお自身の耳と同程度の大きさにしておくことスムーズに着用できます。



- ① 鼻に当ててから、輪っか部分を耳に掛けます。
- ② 左右に垂れているヒモをあごの下で結びます。あごの下で結ぶことが難しい、顔にフィットしづらい場合は首の後ろで結んで下さい。(その際、布と顔の距離が近付いてしまう為、歌唱の妨げになることがあります。)
- ③ マスクがしっかりと目の下で固定されるよう、ヒモを結ぶ強さなどで調節して下さい。

着用完成図



朝の風

藤原歌劇団が8月15日からの3日間、ビゼーの「カルメン」を上演した。4月末に予定していた公演が延期されたもの。新型コロナウイルス禍による「自粛」以後初めての本格的なオペラ公演となった。

入場時や客席の感染防止対策はもちろん、オーケストラはヒットの密を避けるため舞台上で演奏。合唱団は舞

台奥のデッキに配置。3年前も「カルメン」を演出したが、身体的距離をとるため出演者は全員フェースシールドを着用した。オペラは出演者が多く、歌手や合唱団から飛沫が飛びやすいだけに、入念な対策がとられた。声の伸びにくく歌いづらいたろうが、出演者の熱唱にひきつけられた。

演出は岩田達宗氏。

再開にむけた関係者の苦勞がしのばれた。「だが、それでも人々は歌うだろう。歌い続けるだろう。言語の壁を越え、人々の間に隔てる距離を飛び越える手段として歌い続けるだろう。そしてカルメンのように、どんな差別や抑圧や暴力にも屈しないと、歌い続けるだろう。そんなものには屈しない、と言うカルメンの歌は、新しくなる世界へ人類が船出するときの高らかな讃歌なのだ」

岩田氏の「演出ノート」に共感した。(尊)

随想

うたごえ時間

うたごえ運動の初期には、「我らの仲間」「カチユーシヤ」「泉のほとり」など、ソウイェト・ロシアの歌をよくうたったものである。

スターリンという男はひどい指導者だったし、ソウイェト・ロシアが本当に社会主義だったかは疑問だが、ドナイエフスキ、フランテル、ノウイコフなど当時の大衆的な歌曲の作曲家たちは、

育てた歌

うたごえの始まりを

守屋博之

働く者が夫大公であり、差別のない平等な社会と明るい未来を素直に信じ、その立場で作曲していったと思う。だから、あんなにも肯定的で、人々と未来に確信をもつ楽天的な作品ができたのだらう。ショスタコウイチやハチャトゥリアンのような作曲家も、歌のたくさん入った映画音楽や、歌曲を書いている。ソウイェト時代の歌曲は、大衆的で、しかも芸術性が高く、いわゆる大衆歌曲と芸術家曲の二つの性格が一つに統一されていた。

ランたちが、うたごえのために作曲してくれた。田龍治、藤村記一郎など、うたごえの作曲家たちを育て、創作活動の発展につながっている。池田晋一郎、武義和、金井信などすぐれた作曲家の協力を得ることができたのも、そのこと無縁ではないだらう。

また、いま私たちが合唱するときのうたごえなら、この初期に中央合唱団がソウイェト歌曲や当時の創作曲をうたったことや、その中彼らが身につけた演奏スタイルに強く影響されていると思う。(日本のうたごえ合唱団音楽監督)

うたごえ新聞

2020.9.8しんぶん「赤旗」より

□9月14日号の「うたごえ新聞」には、若園さんが紹介されていた、『時の行路』の神山監督と池辺晋一郎さんの対談記事とともに、日本のうたごえ合唱団音楽監督・守屋博之さんが「随想・うたごえ時間」に「うたごえの始まりを育てた歌」を寄稿されています。ご一読ください。

またホットニュース！コロナ禍の今、「藤原歌劇団」が8月15日から3日間、得意のビゼー「カルメン」を上演した模様が報じられています。(編集子)